

日本保育園保健協議会

第3回全国研修会

保育園と子ども、その家族とのより良い連携

～処遇困難事例への対応を考える～

テキスト



日本保育園保健協議会

2008年1月27日(日)

横浜市教育会館

(第2ブロック 神奈川)

会頭：遠藤郁夫

「第3回全国研修会 会頭あいさつ」

日本保育園保健協議会副会長

(第2ブロック代表・神奈川県園医)

遠藤 郁夫

ようこそ神奈川へ、昨年のお阪での研修会2か月前から準備にかかり、やっと本日の開催にこぎ着けました。その間、保育園の保健をめぐる議論は、これまでになく大きくなり、その質の変容が求められるようになりました。まず、保育指針の改定、さらに看護職の配置と具体的に来年度から、もうすぐ保育園では保育保健の新たな活動がスタートする運びになっています。

これらの新しい流れに押し流されず、どこでも子ども達のさらなる安全と安心を確保するために、保育園としてはそのスタッフ全員が、それぞれの立場で研鑽を積み対処していかなければなりません。

したがって、今回の全国研修会はこれまでの研修会とは少し趣を変え、参加者全員で問題意識を共有し、その対策を自園ではどうするかというところまでたどり着くよう企画いたしました。

これからの研修会は、ただ参加して良い話を聞いただけでは、なんの意義もないのです。すぐ自園へ持ち帰って、これからの対策に生かされなければならないのです。

そこで参加者の皆さんへのお願いですが、本日の研修会ではあなたの園での問題点をしっかり検討してください。もし、午前中の事例や検討課題の中へあなたの園の問題がのぼらなかった場合には、時間を取っておりますので、ぜひあなたが提言してください。そして研修会終了までに、その対応策をしっかり検討してください。研修会では分からないことは、その場で質問し解決しましょう。

全国から参加くださった会員のみなさまに、実りある研修会だったと満足していただくことを目標に準備してきましたので、ぜひ有効に活用してください。

— 目 次 —

- 9 : 30 開会式 総合司会：大本マリ
開会のことば：野矢淳子（常任理事・小児科医）
あいさつ：鴨下重彦会長、遠藤郁夫会頭、帆足英一学術部長…………… 1
来賓祝辞：川久保 格（神奈川県医師会理事）
- 9 : 45 子ども・保護者との接遇・連携が難しい事例
座長：高橋系一（東京都・小児科医）・羽室俊子（東京都・保健師）
1. 問題提起
- 1) 発達障害の疑われた事例—保育園での対応—…………… 3
遠藤清子（川崎市・保育園園長）
- 2) 虐待の疑われる事例—保育所での対応—…………… 5
廣田悦子（小田原市立桜井保育園園長）
2. 討論（参加者全員にて） ●指定発言 ●自由発言
- 12 : 00 昼休み 昼食（弁当） 休憩
- 12 : 45 講演 1：発達障害の疑われる事例に対して
座長：石井啓允（藤沢市・小児科医）
その理解と家族との連携
—ケアは幸せに生きるためのメインディッシュ！—…………… 8
講師：江川文誠（重症心身障害児施設ソレイユ川崎 施設長）
- 13 : 45 講演 2：虐待を疑わせる事例に対して
座長：山梨優佳（川崎市・保育園園長）
保育園支援が有効な子どもの虐待と無力な場合
—なぜ親は子どもを虐待したのか—…………… 13
講師：広岡智子（子ども虐待防止センター 理事）
- 14 : 45 特別講演：保護者とよりよい関係をつくるには…………… 17
座長：小島幸司（藤沢市・小児科医）
講師：帆足英一（ほあし子どものこころクリニック院長・小児科医）
- 15 : 45 閉会式
次期会頭あいさつ：藤田 位（第4回全国研修会会頭・兵庫県・小児科医）
閉会のことば：井崎和夫（横浜市・保育園理事長・医師）

（敬称略）